

国立公園のルールとマナー

ルール 守ってください。場所によっては、法律で規制されています。



動植物をとらないでください。石を持ち帰らないでください。生態系のバランスが崩れるだけでなく、あなたの次に訪れる人がそれらを見られなくなってしまうます。



施設は大切に使ってください。落書きも犯罪(器物損壊)です。また、騒音(ドローン飛行も含む)などで他の利用者に迷惑をかける行為はしないでください。



植生の破壊、野生動物の誘引、山火事を防ぐため、キャンプやたき火は決められた場所以外ではしないでください。



野生動物に餌を与えないでください。本来、自然の中で暮らす野生動物が人に慣れ、人の生活圏に近づくことによって、交通事故や怪我などのトラブルの原因になります。また、行動様式が変化し、生態系のバランスが崩れる可能性もあります。

※クマやイノシシに出会った場合は、刺激を与えず、その場をゆっくり立ち去ってください。

マナー みんなが快適に国立公園を利用できるように、自然と他者に思いやりを持って接しましょう。



無理のない行動計画を立てましょう

国立公園を利用する際は事前に情報収集した上で、無理のない行動計画を立て、自己責任で行動しましょう。登山の際は、天候やアクセス、登山道状況、火山情報を事前に入手することで、事故を防止しましょう。特に登攀器具を使った登攀や、冬期山岳部の利用は重大な事故につながる危険性が高いことから、とりわけ慎重な行動が求められます。



安全運転を心がけましょう

野生動物との衝突は、人身事故につながるだけではなく、野生動物の生存を脅かします。また、植生や生態系の保護のため、自動車・バイク等の乗り入れ規制がされている地域もあるので、事前に確認しましょう。



トイレを事前に確認しましょう

トイレがない場所もあるので事前にトイレを済ませるか、携帯トイレを使用しましょう。排泄物による水質汚染や土壌汚染、動植物への影響を防ぎます。



木道や歩道から外れずに歩きましょう

道迷いを防ぐだけでなく、植物が踏み荒らされ、土が削られることによる自然環境の変化を防ぎます。また、歩行にストックを使用する際は、登山道の浸食を防ぐために、保護キャップをつけましょう。



ごみは捨てずに持ち帰りましょう

国立公園の風致景観を保護するとともに、他の人の快適な利用環境を維持します。また、食品ごみの臭いによる野生動物の誘引を防ぎます。



海域の国立公園では、潮の干満時間や潮位、潮流などの海での注意事項を事前に確認をしましょう

離岸流などの急な流れに巻き込まれる、満潮時に磯などに取り残されるといった事故を防ぐために、磯やリーフ、干潟、マングローブ林など海辺を観察するときは、事前に情報収集しましょう。



フィンでサンゴを折らないように気を付けましょう

スノーケルやダイビングを楽しむ際には、フィンなどで貴重なサンゴを傷つけないように気を付けましょう。



喫煙は決められた場所でしましょう

歩きながらの喫煙は、他の人の迷惑になります。また、火事の原因にもなりますので、灰や吸い殻を捨てないでください。



地域に配慮しましょう

国立公園は人の生活する場も含まれています。農林漁業を妨げる行為や私有地への勝手な立入りなど、その地域で生活する人が困るような行為はやめましょう。